

取組事例 新しい人の流れの創出や福祉関連事業支援による働く場の確保 (津別町)

津別町では、空き家利活用による新しい人の流れの創出と、障がい者の働く場と生活の場の創出により、新たな雇用を生み出すことで定住人口の増加に取り組んでいる。

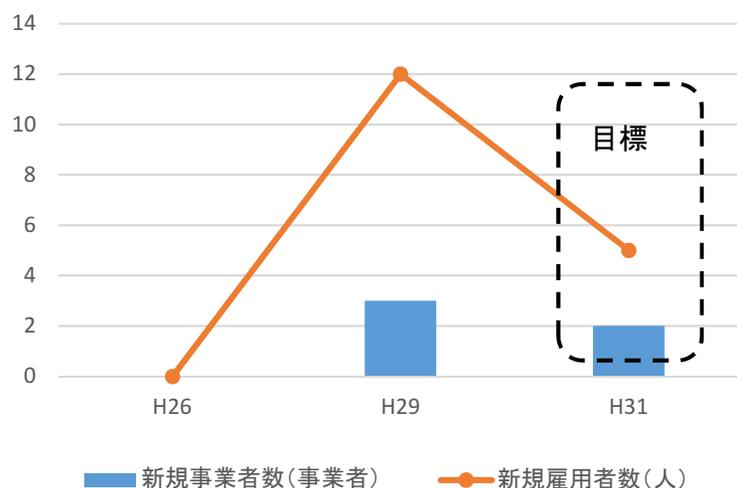
関連数値目標・KPI

	基準値 (H26)	実績 (H28)	目標値 (H31)	進捗率 (%)
新規事業者の増加に伴う雇用者数増	0人	12人	5人	240%
障がい者等の就労	2人	5人	5人	100%

取組の推進体制

役場、社会福祉協議会、農業協同組合、商工会などから構成される「津別町創生総合戦略会議」を立ち上げ、適切な役割分担の下、官民の連携により取組を効果的に推進。

新規事業者による雇用の状況



取組事例

障がい者の働く場と生活の場の創出

○主な取組
 青少年交流による約30年の繋がりのある千葉県船橋市の障がい福祉事業者と連携し、町内に子会社「(株)びーと」を設立。
 町内の障がい福祉事業者にノウハウ提供等の支援を実施するとともに、町内の空き家を活用し、町内初の障がい者向けグループホームを開所した。

○主な成果(平成30年5月現在)
 ・町内での障がい者の就労人数(5名)
 ・グループホーム利用者数(2名)



空き家利活用による新しい人の流れの創出

○主な取組
 空き家利活用により新しい人の流れを創出するプロジェクト「道東エリアリノベーション・プロジェクト・イン津別」を立ち上げ、ゲストハウスとコワーキングスペースの運営者の発掘を行なうワークショップを計6回実施。

○主な成果(平成30年5月現在)
 ・パイロット事業運営者数(2名)



競争力のある津別町の創出

○主な取組
 地域経済の循環促進と地域外からの外貨獲得を目指し、「津別町まちづくり会社(仮称)」の統括マネージャーの募集を行い、外資系コンサルティング会社の人材を採用。
 H30年度末に会社を設立し、競争力のある津別町を創出する。